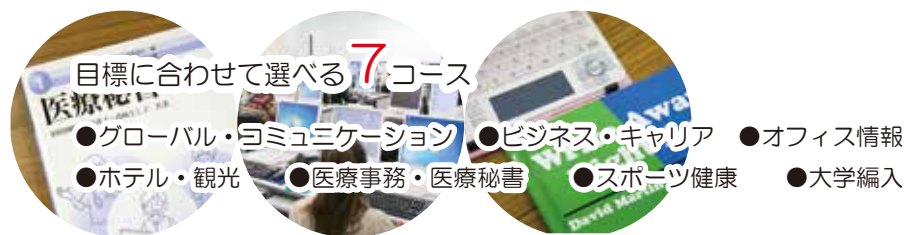


第115回秘書技能検定準1級合格



合格者メッセージ

Q1. 秘書検定を受験するきっかけ、目的は？

A1. 高校生の時、3級を受験し合格したことで少し自信がつき、もっと上を目指したいと思ったのがきっかけです。準1級は筆記試験だけでなく面接試験もあるため、自分の立ち居振る舞いも見直すことができ、アルバイト先での接客に活かすことができると思ったからです。

Q2. 合格するために、どんな受験勉強をしましたか？

A2. 筆記問題はひたすら過去問題（択一・記述）を解き、記述の問題は苦手だったので、ノートを作り勉強しました。面接（あいさつ・報告・状況対応）対策は秘書学担当の先生に細かく指導していただきました。受験後の感想は、筆記の記述に曖昧な部分があり、もう少し勉強しておけば良かったと悔やまれました。面接試験は緊張しながらも、あいさつ・報告は手応えがありました。状況対応はまだまだ納得のいくレベルではないなと感じました。

Q3. 合格した感想と今後の抱負は？

A3. 準1級は面接試験もあり、筆記の記述も難しくなります。私は一度筆記試験で不合格を経験したので、次は絶対受かるという強い気持ちで勉強しました。実際に合格した時はすごく嬉しかったし、諦めなくて良かったと思いました。

今後は秘書検定で学んだことを、アルバイトや就職先等で活かしていこうと思います。

Q4. 後輩へ一言

A4. 準1級の筆記試験は難しく、さらに面接試験もあるのでやめておこうと思う人もいると思います。けれど、筆記試験は勉強すれば必ず合格します。面接試験も先生と共に練習をするので自信もつきます。難しいからと最初から諦めずまずは一度挑戦して欲しいです。

Q5. 今後の目標など

A5. 私は面接試験が苦手で、なかでも「状況対応」の課題は特に苦手でした。そんなとき先生が「目の前の人をお客様と思い大切に接して」とアドバイスをくださいました。そのお陰で本番では試験官をお客様だと思えることができました。歩き方やお辞儀の角度など、自分では良いと思っていても、客観的に見ると綺麗なお辞儀でなかったり、姿勢が悪かったりと直す部分がたくさんあることが分かりました。準1級を受験したことで立ち居振る舞いを見直すことができました。今後は「お客様と思い大切に接する」という言葉を心がけ、色々な場面で活かせるようにしたいと思います。

秘書検定を
含めて
全39資格
の取得を
サポート

